

# 社会科学習指導案

広島市立〇〇小学校

指導者 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成 30 年 10 月〇日(〇)
- 2 学年・組 第 6 学年〇組
- 3 単元名 「世界に歩み出した日本」
- 4 単元について

○ 本単元は、小学校学習指導要領社会編（平成 20 年）の第 6 学年 2 内容(1)のクを基に設定した。

## ●小学校学習指導要領 第 2 章 第 2 節 社会（平成 20 年） 第 6 学年 2 内容

(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

ク 大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。

### 【参考】

## ●中学校学習指導要領 第 2 章 第 2 節 社会（平成 20 年） 歴史的分野 2 内容

(5) 近代の日本と世界

ウ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。

エ 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。

※中学校では、「立憲制の国家」「議会政治」「産業革命」「近代文化」を理解させることが加わる。

この時代の日本は、国際的な地位が低く、そのため領事裁判権や関税自主権がないなど、不平等な状態が続いており、国際的地位の向上が、喫緊の課題であった。

その向上について、国内的には、明治維新の急激な社会の変化のなかで、欧米を手本に国づくりを進めることで欧米と対等な地位を目指しており、国際的には、各国が領土の拡大を進める中で、日本も朝鮮に対して武力による進出を行うことで、国際的地位の向上を目指していた。

このような状況の中で、日清・日露戦争やその後の講和条約の締結、韓国併合などの歴史的な事象が起こる。これらの事象は、日本側の視点で捉えると、厳しい立場に置かれた国際情勢のなかで、日本国民の安全確保のために尽力した事象として理解できる一方で、近隣諸国からの視点で捉えると、大きな損害を与えられた負の側面として、捉えることができる事象である。

ここまでの時代の歴史学習では、日本政府や国内情勢の視点、また、ある人物の視点のみで捉える学習が多かったが、この時代の歴史的な事象は、欧米、アジア諸国、日本政府、国民と視点を変えると様々な捉えることができる事象であり、より深く学ぶためには、様々な視点から考えることが重要になる単元であると考えられる。

○ 本学級の児童は、4 月当初、社会科の学習は知識を覚えるものと考えられる児童が多く、そのため苦手意識をもっている児童が多く見られた。歴史学習が始まってからは、歴史上の人物の働きや文化遺産、その時代に起こった事件や文化などに興味をもち、意欲的に歴史的な事象を調べる児童もいる。一方、これまで以上に覚えることが多いと感じている児童も見られ、全体としては、歴史的な事象に対して一面的な見方にとどまっていたり、暗記学習と認識し、苦手意識をもっていたりする児童が多く見られる。

そのため、歴史学習が暗記学習に留まらないように、なぜそのようなことが起こったのか、そのとき人々はどのように考えていたのかなど、時代背景や原因について考える機会を多く作ったり、

歴史的事象や先人の働きから、今に生かせることは何かと、歴史的事象の意味を考える時間を増やしたりしながら実施してきた。

江戸時代の学習では、町人にまで文化が普及したことについて、なぜ町人にまで文化が普及したのか、どういう状況なら文化は普及するのだろうかについて考える学習を行った。その授業では、「文化が普及するのは、人々の心にゆとりがあるときだ。」「文化が広く普及する世の中が平和なときなので、今の時代も、もっともっというろいろな文化が普及していくことがよいと思う。」と、歴史的事象から現代を考える児童も見られた。しかし、そのように歴史的事象から現代にもつなげて考え、表現できる児童は限られている。

- 指導に当たっては、暗記学習やその個別の事象を覚える学習にならないように、単元構成を工夫して行いたい。特に導入部分の問いを工夫することと、まとめの部分の話合い場面を工夫することで、単元を通して様々な歴史的事象を関連させて深く学んだり、現代の問題まで広げながら考えたりすることができるようにしていきたい。

具体的には、単元の導入部分では、ノルマントン号事件をきっかけに高まった不平等条約への日本人の怒りを当時の人々の気持ちになって理解することから始める。そのことで、「なぜ不平等条約はなくなるのか」「どのように不平等条約を改正していくのか」と問い、単元をつなぐ学習問題として設定していく。その後、その学習問題について、日清・日露戦争、韓国併合、陸奥宗光による治外法権の撤廃、小村寿太郎による関税自主権の回復を調べていき、それらを互いに関連させながらより深く考えていきたい。またその際、我が国の国際的地位を向上させる努力が、国際紛争を招き、植民地支配にまで及ぶことについても触れ、広い視野から歴史的事象を考えさせたい。

まとめの場面では、この時代背景や時代状況を基に、「足尾銅山鉍毒事件」について考える。その際、複数の立場から考えたり、話し合ったりすることで、多様な見方を身につけたり、この歴史的事象から現代の私たちが学ぶことは何かを考えることで、歴史的事象の意味を考えたりしながら、深い学びにつながる学習へとしていきたい。

## 5 単元の目標

- 日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらにかかわる人物の働きを理解し、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことや、それによって人々の生活や社会が変化したことがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働きを考えようとする。
- 日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらにかかわる人物の働きから学習問題を見だし、調べたことをまとめ、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことやそれらにかかわる人物の願いや働きについて思考・判断したことを適切に表現する。

## 6 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・技能活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
①日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらにかかわる人物の働きに関心をもち、進んで調べようとしている。	①日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらにかかわる人物の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え、表現する。	①日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらにかかわる人物の働きについて、地図や年表、風刺画等の資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。	①日清・日露戦争、産業の発展や条約改正などによって我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことがわかる。
②世界のなかの日本の立場や国力充実までの経緯に関心をもち、そ	②我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことについて調べ	②調べたことを年表、	②我が国の産業がさかんになり、国際的地位が向上したことによっ

の歴史的背景や現在の私たちの生活と関連付けて考えようとしている。	たり、調べたことを関連づけたり総合したりして、それらにかかわる人物の願いや働きについて考え、適切に言語などに表現している。	ワークシートやノートなどにまとめている。	て、人々の生活や社会が変化したことがわかる。
----------------------------------	---	----------------------	------------------------

## 7 学習指導計画(全7時間)

過程	ねらい	主な学習活動	■教師の働きかけ □評価 ☆資料
社会認識を育てる場	この時代にどのようなことが起こり、人々はどのようなことを考えたのかについて関心を持ち、単元の学習問題をつくることができる。	①ノルマントン号事件について考え、学習問題を設定する。 ・なぜ不平等条約なんて結んだのだろう。 ・この条約はなぜ改正されなかったのだろう。 ・これから、日本はどのようにして世界との関係を変えていくのだろう。	■ 事件の概要を捉えられるように説明をする。 ■ 挿絵から気付いたことを出し合うことを通して、事件の理不尽さを理解できるようにする。 ■ 日本と欧米諸国の両方の立場で考えるように助言し、アジアに対する欧米諸国の差別意識に気付かせる。 □ 関①：ノートの記述，発言 □ 思①：ノートの記述，発言 ☆ 日米修好通商条約概要，風刺画
	<b>【単元の学習問題】</b> 当時の人々は何を願い、日本はどのように不平等条約を改正していくのだろう。そして、それにより日本はどのように変わっていくのだろう。		
ふかめる	不平等条約がどのように改正されていたのか調べることができる。	②条約改正までの流れを自分で調べ、年表にまとめる。  日本は、どのように条約改正をしていったのか調べ、年表にまとめよう。  ・何度も交渉したが、そう簡単には改正できない。 ・1894年から1895年に日清戦争があり、清に勝ち、賠償金や台湾を手にしたが、遼東半島は中国に返した。 ・1904年から1905年に日露戦争が起こり、多くの死傷者を出しながらもロシアに勝った。 ・1910年に朝鮮を植民地にした。	■ 整理しやすいように、ワークシートを準備する。  □ 関①：ワークシートの記述，学習活動の様子 □ 技②：ワークシートの記述 ☆ 資料集，世界地図

社会認識を育てる場	<p>複数の立場から二つの戦争の影響を考えることを通して、日本の立場が世界のなかでどのように変わったのか考えることができる。</p>	<p>③日清・日露戦争の影響を考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日清・日露戦争が、日本の国力充実や国際的地位の向上に、どのような影響を与えたのか考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争後、賠償金により工業が発展し、軍備を強化できた。</li> <li>・台湾を領土にした。</li> <li>・イギリスと同盟を結べた。</li> <li>・日本の国際的な評価が上がった。</li> <li>・日露戦争は、日清戦争とは異なり、勝利はしたが、賠償金はもらえなかった。</li> <li>・朝鮮での指導権が認められ、ロシアから遼東半島の一部や南満州鉄道の権利などを譲られ、国際的な評価が上がった。</li> <li>・死傷者や戦費も多かったにも関わらず、賠償金がなかったため、国民の不満は大きかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前時の学習を基に、二つの戦争が条約改正に与えた影響について考えさせる。</li> <li>■ ポーツマス条約を、国民・政府・小村寿太郎の三者の立場から考えさせることを通して、時代背景の理解を深められるようにする。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 思②：ノートの記述，発言</p> <p><input type="checkbox"/> 知①：ノートの記述，発言</p> <p>☆ 日本軍の進路図，世界地図，風刺画など</p>
	<p>世界のなかで日本の立場がどのように変わり、どのように条約改正をしたのかが分かる。</p>	<p>④二つの戦争後の日本と世界の情勢の変化について理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>二つの戦争後、日本はどのように条約改正をしたのか理解しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国を併合し、植民地化した。</li> <li>・朝鮮の人々の生活が急変した。</li> <li>・韓国を植民地化したことで、条約の改正に成功した。</li> <li>・日本の力が国際的に認められ、外国と対等な関係になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第2時作成の年表に書き込んでいる気付きや疑問と関連させて調べるようにする。</li> <li>■ 日本人と朝鮮人の思いを対比させ、複数の視点から捉えさせる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 技①：ノートの記述，発言</p> <p><input type="checkbox"/> 知①：ノートの記述，発言</p> <p>☆ 資料集，風刺画，世界地図</p>
	<p>国際社会における日本人の活躍が分かる。</p>	<p>⑤国際社会での日本人の活躍について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>当時、国際的に活躍した日本人について知ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野口英世は千円札の人。</li> <li>・野口英世，北里柴三郎，志賀潔が活躍し、医学の発展に貢献した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童に馴染みがある野口英世の写真から始め、意欲をもてるようにする。</li> <li>■ 資料集を基に、国際的に活躍し</li> </ul>

社会認識を育てる場	ふかめる		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与謝野晶子, 正岡子規は, 短歌や俳句で優れた作品を発表した。</li> </ul>	<p>た日本人についてノートにまとめることで, 様々な分野で活躍した人がいることに気付かせる。</p> <p><input type="checkbox"/> 技①: ノートの記述, 発言</p> <p><input type="checkbox"/> 知①: ノートの記述, 発言</p> <p>☆ 野口英世の写真</p>
		<p>産業の発展によって, 人々の生活や社会はどのように変化したのかが分かる。</p>	<p>⑥生活や社会がどのように変化したのか理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>産業が発展することで, 人々の生活や考え方がどのような変化したのか理解しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次世界大戦の影響で, 好景気もあったが, 米の値段が急に上がって生活が大変。</li> <li>・ ラジオ放送が始まり, 多くの情報が得られるようになった。</li> <li>・ 交通手段が発達し, 行動範囲が広がった。</li> <li>・ 選挙権は男子にだけ与えられた。</li> <li>・ 女性が色々な権利を守るため訴えている。</li> <li>・ 公害によって被害が出た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 放送の始まり・交通の発達・洋服の普及など, 今までと比較しながら, 人々の生活や社会の変化を読み取ることができるようにする。</li> <li>■ 公害問題にも触れることで, 殖産興業の陰で苦しんでいた人々がいたことに気付かせる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 技① ノートの記述, 発言</p> <p><input type="checkbox"/> 知② ノートの記述, 発言</p> <p>☆ 当時の写真, 資料集</p>
実践的な力を育てる場	いかす	<p>ここまでの学習や現代の社会的事象と関連させて, この時代の特徴や産業発展の影響について考えることができる。</p>	<p>⑦足尾銅山鉱毒事件について話し合い, この時代の特徴や産業発展の影響について考える。(本時)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>政府と国民それぞれの立場から, 足尾銅山鉱毒事件について考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの犠牲があったが, そのおかげで国力が充実し, 不平等条約も改正できた。</li> <li>・ 国のためとはいえ, 結局民衆が苦しむのはおかしい。</li> <li>・ 殖産興業はいいことと悪いことがある。</li> <li>・ この時代は, 国力充実のために, 犠牲をはらってでも実行していた時代だった。</li> <li>・ 産業の発展にはマイナス面もあることを考えないといけない。</li> <li>・ 結局は自分たちが1番苦しむことになるので環境のことが1番大切だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事件の概要が分かるように, 年表や田中正造の写真を基に説明をする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 政府と民衆, それぞれの立場から考えられるよう, ワークシートを準備する。</li> <li>■ 両者の立場が明確になるよう, 児童の発言を整理して板書する。</li> <li>■ この事件から学べることを, この時代の特徴をまとめるという視点とこの事象を現代に生かすという視点で考えさせる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 関②: ワークシートの記述, 発言</p> <p><input type="checkbox"/> 思②: ワークシートの記述, 発言</p> <p>☆ 足尾銅山の写真, 事件の概要</p>

8 本時の目標

足尾銅山鉛毒事件について、政府と民衆のそれぞれの立場で考え話し合うことを通して、この時代の特徴や産業発展に伴う影響について考えることができる。

9 本時の学習展開

学習活動	■教師の働きかけ □評価 ☆準備物
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業発展で人々の生活は便利になったこと</li> <li>公害問題で苦しんだ人もいたこと</li> <li>生活や社会が大きく変化したこと</li> </ul> <p>2 足尾銅山鉛毒事件についての概要を知り、本時の学習問題を確認する。</p>	<p>■ 前時までのノートやワークシートを見ながら素早く振り返りを行わせる。</p> <p>■ 表を使って、事件の概要を説明する。 ☆ 事件の概要、田中正造の写真</p>
<p>政府と国民それぞれの立場から、足尾銅山鉛毒事件について考えよう。</p>	
<p>3 政府、民衆それぞれの立場から、足尾銅山鉛毒事件を考える。</p> <p>&lt;政府の立場から&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国が植民地として狙っていた時代だから、国が強くなるためには仕方ない。</li> <li>植民地になってしまったら、もっと苦しむ。</li> <li>国力充実のために我慢してほしい。</li> </ul> <p>&lt;国民&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国が強くなるためとはいえ、命より大事なものはない。避難させるとか、被害を少なくする方法があると思う。</li> <li>国のために頑張っているのは自分たちも同じ。だから自分たちのことも大事にしてほしい。</li> </ul> <p>4 それぞれの立場から意見を出し合い、話し合い、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの犠牲はあったが、足尾銅山等で国力が充実し、条約改正もできた。</li> <li>国の発展のために仕方なかったかもしれないが、事前に対策をとる方法もあったはずだ。</li> <li>国のためとは誰のためか。結局、民衆が苦しむのはおかしい。</li> <li>殖産興業はいいことと悪いことがある。</li> </ul> <p>5 足尾銅山鉛毒事件から学んだことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この時代は、国際的地位向上のために、多くの犠牲をはらってでも、実行していた時代であった。</li> <li>マイナス面があっても、国力をつけないといけないぐらい、当時の日本は追い込まれていた。</li> <li>産業の発展は、便利になるだけでなく、マイナス面もあることを知らないといけない。</li> <li>ものごとを行うには、いいことだけではなく、悪い影響もないか考えないといけない。</li> <li>結局は自分たちが1番苦しむことになるので環境のことが1番大切だと思う。</li> </ul>	<p>■ 政府、民衆のそれぞれの立場から、この事件についての考えをワークシートにまとめさせる。</p> <p>■ 感情論にならないように、これまでの学習や資料等を根拠に自分の考えを書くようにさせる。</p> <p>☆ 銅の産出量のグラフ ☆ 当時の足尾銅山の写真</p> <p>■ 児童の発言を整理して板書することを通して、殖産興業のプラス面とマイナス面について考えることができるようにする。</p> <p>■ 前時のまとめと比べ、自分の考えがどのように変化したのか振り返らせる。</p> <p>■ 足尾銅山鉛毒事件から分かったことについて、「つまりこの時代は?」「つまり産業が発展するとは?」を考え、この時代の特徴をまとめたり、これからの日本にどのように生かせるかについて考えたりさせる。</p> <p>□ これまでの学習や現代のことと関連させて足尾銅山鉛毒事件について考え、この時代の特徴や産業発展の影響について考えることができる。(思②)</p>